

Rating for ASP.NET Web Forms

2018.04.25 更新

グレースィティ株式会社

目次

製品の概要	2
ComponentOne for ASP.NET Web Forms のヘルプ	2
主な特長	3
クイックスタート	4
手順 1: コントロールのプロジェクトへの追加	4
手順 2: コントロールの外観のカスタマイズ	4
手順 3: 実行時の C1Rating コントロールの使用	4-5
デザイン時のサポート	6
スマートタグ	6-7
CSS セレクタ	8
クライアント側の機能	9
クライアント側イベント	9
タスク別ヘルプ	10
レーティングコントロールへのアニメーションの追加	10
C1Rating アイコンのカスタマイズ	10-11
string 24 スターレーティングオプションの使用	11-12
GOOD および BAD レーティングオプションの使用	12-13
バー配列レーティングオプション	13-14
レーティングの向きと方向の変更	14-15
Hover および Rated イベントの処理	15-16

製品の概要

Rating for ASP.NET Web Forms を使用して、カスタマイズ可能なスターレーティングコントロールを自動的に生成します。

ComponentOne for ASP.NET Web Forms のヘルプ

ComponentOne for ASP.NET Web Forms の各コントロールで共通したトピック、アセンブリの追加、テーマの適用、クライアント側情報などについては「[ASP.NET Web Forms ユーザーガイド](#)」を参照してください。

主な特長

Rating for ASP.NET Web Forms の主な特長のいくつかを以下に示します。

- **向き**
レーティングコントロールをページの水平方向または垂直方向に配置できます。
- **カスタムアイコンの使用**
好みのアイコンを使用して、レーティングコントロールの魅力を高めたり、独特のものにしたりできます。
- **アニメーション**
RatingAnimationプロパティを使用して、レーティングアイコンのアニメーション効果を完全にカスタマイズします。

クイックスタート

Rating for ASP.NET Web Forms クイックスタートでは、**C1Rating** コントロールを使用する Web フォームの作成について紹介します。以下の各手順では、**C1Rating** コントロールをプロジェクトに追加し、デザイナを使ってコントロールの外観をカスタマイズして、アプリケーションを実行します。まず、新しい ASP.NET Web アプリケーションを作成して、以下の手順を実行します。

手順 1: コントロールのプロジェクトへの追加

このクイックスタートの最初の手順では、ASP.NET Web アプリケーションを作成して、**C1Rating** コントロールを Web ページに追加します。

1. ASP.NET Web アプリケーションプロジェクトを作成します。
2. 「**デザイン**」タブをクリックして、デザインビューに入ります。
3. ツールボックスで、**C1Rating** をダブルクリックします。プロジェクトに**C1Rating** コントロールが表示されます。

次の手順では、デザインビューで **C1Rating** コントロールの外観をカスタマイズします。

手順 2: コントロールの外観のカスタマイズ

このクイックスタートの前の手順では、ASP.NET Web アプリケーションを作成して、**C1Rating** コントロールを Web ページに追加しました。この手順では、デザインビューで**C1Rating** コントロールの外観をカスタマイズします。この例では、製品をレーティングします。

1. **C1Rating** コントロールを選択して、スマートタグをクリックします。
2. **Count** プロパティを4に設定します。アプリケーションを実行すると、4個の星がレーティングコントロールに表示されます。
3. **TotalValue** プロパティを4に設定します。個々の星が1ポイントの値に相当します。
4. **Split** プロパティを2に設定します。個々の星は二分の一ずつに分割され、それぞれが 0.5 ポイントの値に相当します。
5. **Value** プロパティを2に設定します。**C1Rating** コントロールは、2つの網掛けの付いた星のレーティングから始めます。
6. **Label** コントロールを追加し、その **Text** プロパティを製品名に設定し、製品の画像を追加します。

次の手順では、プロジェクトをビルドして、**C1Rating**のランタイム機能のいくつかを例示します。

手順 3: 実行時の C1Rating コントロールの使用

このクイックスタートの前の手順では、**C1Rating** コントロールの外観をカスタマイズしました。この手順では、プロジェクトを実行して、**C1Rating**のランタイム機能のいくつかを探索します。


1. [F5]を押して、プロジェクトをビルドします。アプリケーションは次の図のように表示されます。

Rating for ASP.NET Web Forms



ComponentOne Studio for ASP.NET



2. 星の前に表示される<このレーティングをキャンセル！>ボタン  をクリックします。
3. 星の上にマウスポインタを置き、希望するレーティングをクリックします。星が二分の一(それぞれが 0.5 ポイントに相当します)ずつ進行することに注意してください。



ComponentOne Studio for ASP.NET



おめでとうございます！ Rating for ASP.NET Web Forms クイックスタートの3つの手順がすべて正常に完了しました。

デザイン時のサポート

Rating for ASP.NET Web Forms は、自動的にカスタマイズ可能なスターレーティングコントロールを提供します。**タスクメニュー**と Visual Studio の**プロパティウィンドウ**にあるプロパティを使用して、コントロールを簡単にカスタマイズできます。

タスクメニューの起動

Visual Studio では、**Rating for ASP.NET Web Forms** コントロールはスマートタグを備えています。スマートタグは、各コントロールで最もよく使用されるプロパティを提供するショートカットの**タスクメニュー**を表します。コントロールの右上端のスマートタグ (🔗) をクリックして、各コントロールの**タスクメニュー**を呼び出すことができます。スマートタグの使用方法の詳細については、「[C1Rating スマートタグ](#)」を参照してください。

Rating for ASP.NET Web Forms コントロールのプロパティの表示

Rating for ASP.NET Web Forms コントロールのプロパティにアクセスするには、コントロールを右クリックして[**プロパティ**]を選択するか、**プロパティウィンドウ**のドロップダウンリストボックスから コントロールを選択するだけです。

スマートタグ

Visual Studio では、**C1Rating** コントロールにスマートタグ (🔗) が用意されています。スマートタグは、各コントロールで最もよく使用されるプロパティを提供するショートカットの**タスクメニュー**を表します。

[**C1Rating タスク**]メニューにアクセスするには、**C1Rating**コントロールの右上端にあるスマートタグ (🔗) をクリックします。**[C1Rating タスク]**メニューが開きます。

[**C1Rating タスク**]メニューは次のように動作します。

- **記号の数**
Count プロパティを使用して、レーティングを表示する星の数を入力します。
- **合計値**
レーティングシステムの合計値を **TotalValue** プロパティに入力します。これにより、個々の星の重みが決まります。たとえば、星が5個の場合に **合計値** を6に指定すると、個々の星の重みは 1.2 ポイントになります。
- **分割**
Split プロパティを使用して、個々の星を分割する部分の数を指定します。これにより、個々の星の重みも決まります。

Rating for ASP.NET Web Forms

たとえば、**合計値** が6の**5**個の星を2つに分割する(星を二分の一に分割する)場合、1つの星の各部分は 0.6 ポイントの重みに相当します。

- **値**
Value プロパティを使用して、アプリケーションを実行すると表示されるレーティングの値を指定します。たとえば、**合計値** が5の**5**個の星がある場合、**Value** を3設定すると**5**個の星のうち**3**個が網掛け付きで表示されます。
- **テーマ**
Theme プロパティのドロップダウン矢印をクリックし、任意の組み込みテーマを選択して、コントロールの外観を変更します。
- **新しいテーマの作成**
[**新しいテーマの作成**]オプションをクリックすると、**ThemeRoller for Visual Studio** が開きます。したがって、開発環境内でテーマをカスタマイズすることができます。アプリケーションで **ThemeRoller for Visual Studio** を使用する方法については、「[ThemeRoller for Visual Studio](#)」を参照してください。
- **CDNの使用**
[**CDN の使用**]チェックボックスを ON にすると、CDN からクライアントリソースがロードされます。これはデフォルトで OFF です。
- **CDN パス**
CDN の URL パスを表示します。
- **Bootstrap の使用**
[**Bootstrap の使用**]オプションを選択すると、コントロールに Bootstrap テーマを適用することができます。アプリケーションで Bootstrap テーマを使用する方法については、「[Bootstrap for ASP.NET Web Forms クイックスタート](#)」を参照してください。
- **バージョン情報**
[**バージョン情報**]をクリックすると、製品のバージョン情報を確認できるダイアログボックスが表示されます。

CSS セレクタ

CSS スタイルを使用して **C1Rating** の要素をスタイル設定し、その外観を真に独特のものにすることができます。カスタマイズ処理を簡素化するために、ComponentOne には、その組み込みテーマごとに CSS セレクタが組み込まれています。

背景、テキスト、フォント、枠、輪郭、マージン、埋め込み、リスト、表などの一般的な CSS プロパティを該当する CSS セレクタに適用できます。

一般に使用される個々の CSS セレクタとグループ化された CSS セレクタのリストについては、プロジェクトの **C1Rating** コントロールを選択し、Visual Studio **プロパティウインドウ** で **CssClass** プロパティの横にあるドロップダウンリストを表示します。**C1Rating** CSS セレクタは、下図のように wijmo-wijrating から開始します。

```
wijmo-wijrating
wijmo-wijrating-hover
wijmo-wijrating-hover-24
wijmo-wijrating-hover-32
wijmo-wijrating-hover-bar-11
wijmo-wijrating-hover-bar-21
wijmo-wijrating-hover-bar-31
wijmo-wijrating-hover-bar-41
```

個々の CSS セレクタをグループとして組み合わせ、CSS セレクタをより具体的かつ強力なものにすることができます。

クライアント側の機能

Rating for ASP.NET Web Forms コントロールには、非常に充実したクライアント側オブジェクトモデルがあります。そのメンバは、ほとんどがサーバー側コントロールのメンバと同じです。

C1Rating コントロールが表示されると、クライアント側コントロールのインスタンスが自動的に生成されます。これは、サーバーにポストバックしなくても、**C1Rating** コントロールのプロパティやメソッドにアクセスできるということです。

クライアント側コードを使用すれば、時間をかけて Web サーバーに情報を送信しなくても、Web ページに多くの機能を実装できます。そのため、クライアント側オブジェクトモデルを使用することで、Web サイトの効率を高めることができます。

クライアント側イベント

Rating for ASP.NET Web Forms には、複数のクライアント側イベントが含まれています。それらを利用すれば、コントロールにマウスポインタが置かれるような処理が行われたときに、**C1Rating** コントロールを操作できます。

クライアント側イベントの表にリストされたサーバー側プロパティを使用して、特定のクライアント側イベントに反応する JavaScript 関数の名前を指定できます。たとえば、**starHover** という JavaScript 関数を割り当てて、コントロールにマウスポインタが置かれたときに応答させるには、**OnClientHover** プロパティを **starHover** に設定します。

下の表に、クライアントスクリプトで使用できるイベントを示します。これらのプロパティはサーバー側で定義されていますが、実際のイベントや各 JavaScript 関数用に宣言する名前はクライアント側で定義されます。

イベントのサーバー側プロパティ名	イベント名	説明
OnClientHover	hover	コントロールの上にマウスボタンが置かれたときに発生します。
OnClientRated	rating	コントロールのレーティング後に発生します。
OnClientRating	rating	コントロールのレーティング前に発生します。
OnClientReset	reset	リセットボタンがクリックされたときに発生します。

C1Rating クライアント側イベントの説明と構文の例については、「[クライアント側リファレンス](#)」でも確認できます。

タスク別ヘルプ

タスク別ヘルプセクションでは、Visual Studio ASP.NET 環境でのプログラミングに精通し、**Rating for ASP.NET Web Forms** コントロールを全般的に理解しているユーザーを対象としています。


各トピックでは、**C1Rating** コントロールを使用した特定のタスクのソリューションを示します。各トピックで概説されている手順に従うことによって、さまざまな **C1Rating** 機能を使用したプロジェクトを作成できます。

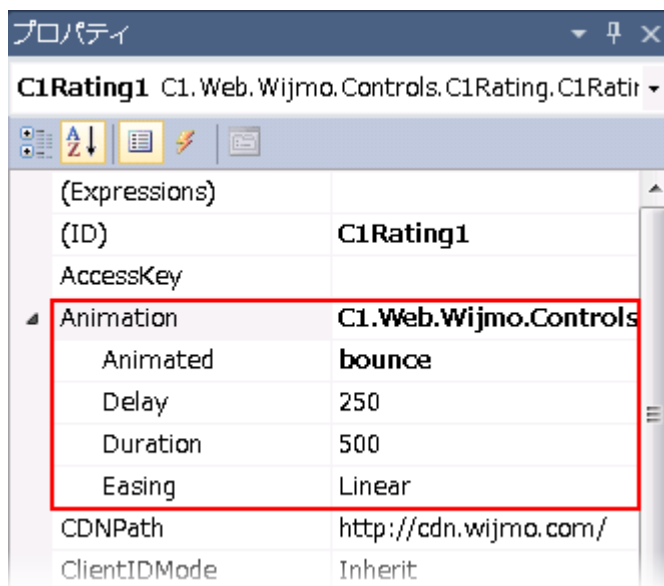
レーティングコントロールへのアニメーションの追加

RatingAnimation プロパティを使用して、**C1Rating** アイコンのアニメーション効果を完全にカスタマイズできます。このトピックでは、デザインビューとソースビューでアニメーション効果を追加する手順について説明します。

デザインビューの場合

以下の手順を実行します。

1. **C1Rating** コントロールを選択し、**プロパティ** ウィンドウ、〈並べ替え〉ボタン  をクリックして、プロパティリストをアルファベット順に並べ替えます。
2. **Animation** プロパティの横にある矢印をクリックして、プロパティオプションのリストを開きます。



3. 使用可能なアニメーション効果の1つを選択し、「Animated」セクションにその名前を入力します。このタスク別ヘルプでは、「bounce」を入力します。
4. [F5]を押して、プログラムを実行します。星をクリックすると、アニメーション効果が表示されます。

ソースビューの場合

<cc1:C1Rating> タグの間に次のマークアップを追加します。

ソースビュー

```
<Animation Animated="bounce" Easing="Linear" Delay="250" Duration="500" />
```

C1Rating アイコンのカスタマイズ

Rating for ASP.NET Web Forms

レーティングシステムに使用するアイコンのタイプをカスタマイズできます。2つのサイズの星、GOOD および BAD、バー配列の4種類のアイコンが使用可能です。このセクションのこのトピックでは、大きめの星オプションの1つの使用、GOOD および BAD オプションの使用、バー配列オプションの使用について説明します。

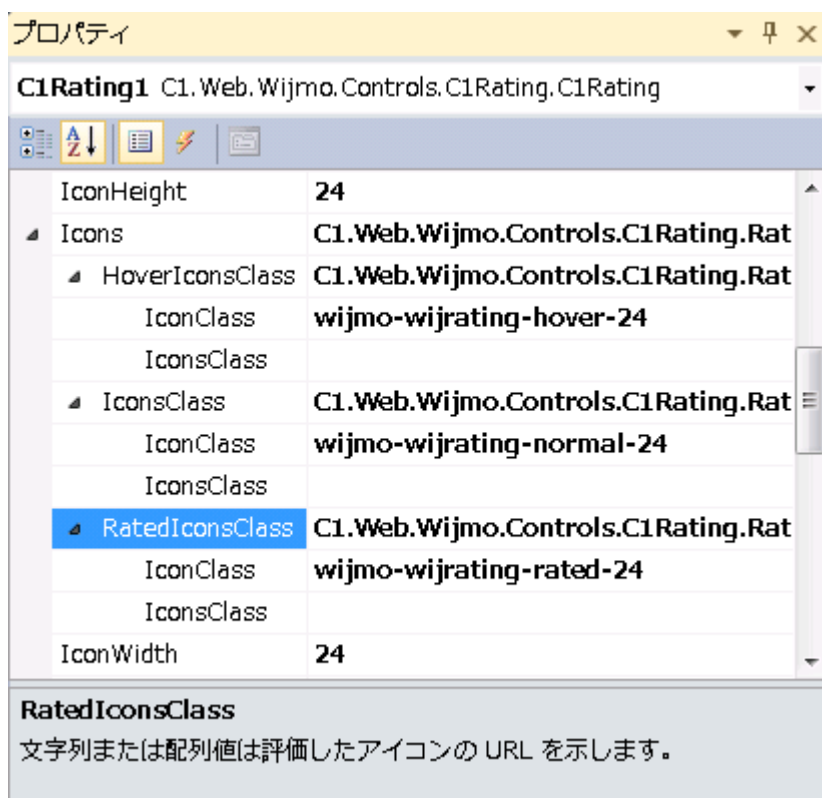
STRING 24 スターレーティングオプションの使用

このトピックでは、カスタマイズしたスターレーティングオプションの1つについて説明します。STRING スターレーティングオプションには、STRING 24 スターレーティングオプションとSTRING 32 スターレーティングオプションという、2種類の大きめのサイズのものがあります。このタスク別ヘルプでは、STRING 24 スターレーティングオプションを使用します。

デザインビューの場合

STRING 24 スターレーティングオプションでは、以下の手順を実行します。

1. Visual Studio ツールバーで、[表示]→[コード]をクリックして **C1Rating** プロパティウィンドウを開きます。
2. [Icons]までスクロールダウンし、矢印を使用してプロパティノードを開きます。
3. **IconHeight** および **IconWidth** に対して値 24 を設定します。
4. **HoverIconsClass** の下で、**IconClass** に対して **wijmo-wijrating-hover-24** を入力します。
5. **IconsClass** の下で、**IconClass** に対して **wijmo-wijrating-normal-24** を入力します。
6. **RatedIconsClass** の下で、**IconClass** に対して **wijmo-wijrating-rated-24** を入力します。
プロパティウィンドウは、次のような図になります。



7. [F5]を押して、プログラムを実行します。レーティングコントロールに使用される星は次のように表示されます。



ソースビューの場合

以下の手順を実行します。

1. IconHeight="24" "とIconWidth="24" を <cc1:C1Rating> タグに追加して、マークアップを次のように記述します。

ソースビュー

```
<cc1:C1Rating ID="C1Rating1" runat="server" IconHeight="24" IconWidth="24">
</cc1:C1Rating>
```

2. アイコンを作成するには、次のマークアップを</cc1:C1Rating> 終了タグの前に追加します。

ソースビュー

```
<Icons>
<IconsClass IconClass="wijmo-wijrating-normal-24"/>
<HoverIconsClass IconClass="wijmo-wijrating-hover-24"/>
<RatedIconsClass IconClass="wijmo-wijrating-rated-24"/>
</Icons>
```

3. [F5]を押して、プログラムを実行します。

GOOD および BAD レーティングオプションの使用

このトピックでは、デザインビューおよびソースビューでレーティングアイコンを GOOD および BAD アイコンに変更する方法を説明します。

デザインビューの場合

Icons プロパティを GOOD および BAD オプションに変更するには、以下の手順を実行します。

1. スマートタグを使用して、**合計値**を設定し、記号の数を**2**に設定します。
2. **プロパティ**ウィンドウに移動して、**IconHeight** プロパティと **IconWidth** プロパティを16 に設定します。
3. **HoverIconsClass** の **IconsClass** プロパティを **wijmo-wijrating-hover-thumbdown,wijmo-wijrating-hover-thumbup** に設定します。
4. **IconsClass** の **IconsClass** プロパティを **wijmo-wijrating-normal-thumbdown,wijmo-wijrating-normal-thumbup** に設定します。
5. **RatedIconsClass** の **IconsClass** プロパティを **wijmo-wijrating-rated-thumbdown,wijmo-wijrating-rated-thumbup** に設定します。
6. **RatingMode** プロパティを**"Single"** に設定します。
7. [F5]を押して、プログラムを実行します。GOOD および BAD オプションは次のように表示されます。



ソースビューの場合

以下の手順を実行します。

1. <Animation> タグの前に次のタグを置きます。

ソースビュー

```
<Icons>
<IconsClass IconsClass="wijmo-wijrating-normal-thumbdown,wijmo-wijrating-normal-thumbup" />
<HoverIconsClass IconsClass="wijmo-wijrating-hover-thumbdown,wijmo-wijrating-hover-thumbup" />
<RatedIconsClass IconsClass="wijmo-wijrating-rated-thumbdown,wijmo-wijrating-rated-thumbup" />
</Icons>
```

2. **合計値**を**2**に変更します。
3. **記号の数**を**2**に変更します。
4. [F5]または<デバッグ>を押して、プログラムを実行します。GOOD および BAD オプションは次のように表示されます。



バー配列レーティングオプション

バー配列オプションは簡単に設定し、カスタマイズできます。このトピックでは、バー配列をレーティングオプションとして設定する手順について説明します。

デザインビューの場合

以下の手順を実行します。

1. レーティングコントロールを選択して、スマートタグを開きます。
2. **Count** プロパティを**6**、**TotalValue** を**6**、**Split** を**1**、**Value** を**4**に設定します。
3. **プロパティウィンドウ**で、**IconHeight** プロパティを **61** に設定します。
4. **IconWidth** プロパティを **11** に設定します。
5. **HoverIconsClass** の **IconsClass** プロパティを **wijmo-wijrating-hover-bar-11,wijmo-wijrating-hover-bar-21,wijmo-wijrating-hover-bar-31,wijmo-wijrating-hover-bar-41,wijmo-wijrating-hover-bar-51,wijmo-wijrating-hover-bar-61** に設定します。
6. **IconsClass** の **IconsClass** プロパティを **wijmo-wijrating-normal-bar-11,wijmo-wijrating-normal-bar-21,wijmo-wijrating-normal-bar-31,wijmo-wijrating-normal-bar-41,wijmo-wijrating-normal-bar-51,wijmo-wijrating-normal-bar-61** に設定します。
7. **RatedIconsClass** の **IconsClass** プロパティを **wijmo-wijrating-rated-bar-11,wijmo-wijrating-rated-bar-21,wijmo-wijrating-rated-bar-31,wijmo-wijrating-rated-bar-41,wijmo-wijrating-rated-bar-51,wijmo-wijrating-rated-bar-61** に設定します。
8. **RatingMode** プロパティを **Continuous** に設定します。
9. [F5]を押して、プログラムを実行します。バー配列レーティングは次のように表示されます。



ソースビューの場合

以下の手順を実行します。

1. <Animation> タグの前に次のタグを置きます。

ソースビュー

```
<Icons>
```

```
    <IconsClass IconsClass="wijmo-wijrating-normal-bar-11,wijmo-wijrating-normal-bar-21,wijmo-wijrating-normal-bar-31,wijmo-wijrating-normal-bar-41,wijmo-wijrating-normal-bar-51,wijmo-wijrating-normal-bar-61"/>
```

```
    <HoverIconsClass IconsClass="wijmo-wijrating-hover-bar-11,wijmo-wijrating-hover-bar-21,wijmo-wijrating-hover-bar-31,wijmo-wijrating-hover-bar-41,wijmo-wijrating-hover-bar-51,wijmo-wijrating-hover-bar-61"/>
```

```
    <RatedIconsClass IconsClass="wijmo-wijrating-rated-bar-11,wijmo-wijrating-rated-bar-21,wijmo-wijrating-rated-bar-31,wijmo-wijrating-rated-bar-41,wijmo-wijrating-rated-bar-51,wijmo-
```

```
wijrating-rated-bar-61"/>
</Icons>
```

2. **TotalValue** を6、**Count** を6、**IconHeight** を 61、**IconWidth** を 11、**Value** を4に設定します。
3. [F5]または<デバッグ開始>を押して、プロジェクトを実行します。配列レーティングは次のように表示されます。



レーティングの向きと方向の変更

レーティングコントロールの向きをカスタマイズすれば、水平に表示するか、垂直に表示するかを設定できます。また、レーティングコントロールの方向をカスタマイズすれば、右から左に読み取るか、左から右に読み取るかを設定できます。

デザインビューの場合

以下の手順を実行します。

1. **C1Rating** プロパティウィンドウで、**Orientation** プロパティを **Vertical** に設定します。
2. **Direction** プロパティを **Reverse** に設定します。
3. [F5]を押して、プログラムを実行します。レーティングコントロールは、上から下ではなく下から上にレーティングを表示していることに注意してください。また、コントロールは水平方向ではなく垂直方向に表示されています。



ソースビューの場合

以下の手順を実行します。

1. <cc1:C1Rating> タグで、次のマークアップに示すように **Direction** プロパティを **Reversed**、**Orientation** プロパティを **Vertical** に設定します。

ソースビュー

```
<cc1:C1Rating id="C1Rating1" runat="server" TotalValue="6" Count="6" Direction="Reversed"
IconHeight="24" IconWidth="24" Orientation="Vertical" Value="4">

<Icons>
<IconsClass IconClass="wijmo-wijrating-normal-24"/>
<HoverIconsClass IconClass="wijmo-wijrating-hover-24"/>
<RatedIconsClass IconClass="wijmo-wijrating-rated-24"/>
</Icons>
```

```
<Animation Animated="bounce" Easing="Linear" Delay="250" Duration="600"/>
</cc1:C1Rating>
```

2. [F5]または<デバッグ開始>を押して、プログラムを実行します。

Hover および Rated イベントの処理

このトピックでは、ソースビューで **C1Rating** コントロールの **Hover** および **Rated** イベントを処理する方法について学びます。以下の手順を実行します。

1. `<asp:Content>` タグの最初のセットの間に次のスクリプトを挿入します。

ソースビュー

```
<script type="text/javascript">
function starHover(e, args){
$("#hover").html(args.value);
}
function starRated(e, args){
$("#rated").html(args.value);
}
</script>
```

2. `</cc1:C1Rating>` の終了タグの後に、次のマークアップを挿入します。

ソースビュー

```
<div> hover value is:<label id="hover"></label></div>
<div> rated value is:<label id="rated"></label></div>
```

3. `<cc1:C1Rating>` タグ内の Value プロパティの後に次の2つのプロパティを設定します。

ソースビュー

```
OnClientHover="starHover"
OnClientRated="starRated"
```

スクリプトとマークアップは最終的に次のようになります。

ソースビュー

```
<asp:Content ID="HeaderContent" runat="server" ContentPlaceHolderID="HeadContent">
<script type="text/javascript">
function starHover(e, args){
$("#hover").html(args.value);
}
function starRated(e, args){
$("#rated").html(args.value);
}
</script>
</asp:Content>

<asp:Content ID="BodyContent" runat="server" ContentPlaceHolderID="MainContent">
<cc1:C1Rating ID="C1Rating1" runat="server" OnClientHover="starHover" OnClientRated="starRated">
</cc1:C1Rating>
<div> hover value is:<label id="hover"></label></div>
<div> rated value is:<label id="rated"></label></div>
</asp:Content>
```


4. [F5]または<デバッグ開始>を押して、プログラムを実行します。